

○事業所名	滝川市こども発達支援センター			
○保護者評価実施期間	令和6年12月2日		～	令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	72	(回答者数)	27
○従業者評価実施期間	令和6年12月2日		～	令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多職種が協働して、お子さんへの支援計画を検討することができる。	・支援計画書作成時、多職種で支援内容を確認しており、様々な視点から内容を検討することができる。	・より専門性を高めながら、今以上に意見を伝えやすい環境を作る。
2	・個別での関わりが可能であるため、お子さんに合わせた支援が可能である。	・お子さんの状況に合わせて環境を調整している。 ・個別支援の中で集団を意識した関わりを行っている。	・必要に応じて多職種でお子さんへの支援を行っていく。 ・小集団の設定等も行えるように関わっていく。
3	・利用しているお子さんが通所を楽しみにしている。	・お子さんや保護者様の状態に合わせて、配慮や工夫をしている。	・お子さんの状況を多職種で確認し、より楽しめる活動を提供していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用児の通所回数が少ない。	・通所児童数が増加している。 ・職員の退職や変更等により、特定の職員が受け持つ担当児が増加してしまった状況がある。	・事務業務等の効率化を図り、指導業務等の時間を増やしていく。 ・指導担当の新規職員が担当児を増やすことで、特定の職員の負担が減り、通所頻度の変化に繋がる可能性がある。
2	・専門職の欠員もあり、言語面等の専門的な支援が不十分である。	・専門職の人員が欠員。	・専門職の人員確保に努めていく。また研修や講習会等に参加し、専門性を高めていく。
3	・当センターを利用するお子さんと地域のお子さんが一緒に活動する機会や兄弟向けイベントの開催ができていない。	・職員の業務量の調整の課題がある。 ・当センターの運営上、休日の開催が難しい。 ・兄弟向けイベントや地域のお子さんとの交流は、他関係機関と日程調整等を行う必要がある。	・当センターでは、保護者交流会の開催は行っているが、地域のお子さんと一緒にイベントや兄弟で活動するイベントの開催は行えていない状況であり、今後必要に応じて開催を検討していく。